

(仮称) にいがた都市交通戦略プラン
[実施計画 (案)]

2019 年度 ▶ 2022 年度

新潟市

●●年●月

目次

はじめに P.1

(仮称) にいがた都市交通戦略プラン[実施計画]の計画期間 P.2

多核連携型のまちづくりを支える交通戦略

①都心方面を結ぶ公共交通の利用促進に向けたサービス強化 P.4

②鉄道・バス・タクシー等の交通手段間の役割分担と結節強化 P.4

③災害に強く、健全な社会活動や渋滞緩和等に必要な道路の整備 P.5

④地域のまちなかへの居住・施設立地誘導との連携 P.5

都市の活力と拠点性を強化する交通戦略

⑤土地利用と連携した基幹公共交通軸の形成 P.7

⑥広域交通と二次交通が連携した主要拠点間のアクセス強化と周遊強化 P.7

まちなかの賑わいを創出する交通戦略

⑦多様な手段による回遊性向上と結節強化 P.9

⑧都心部への通過交通排除に資する道路の整備 P.9

⑨公共交通や歩行者自転車空間創出に資する道路空間の再構築 P.9

暮らしを支えるモビリティを地域で育む交通戦略

⑩地域のまちづくりと連携した区内公共交通網の形成 P.11

⑪多様なライフステージのニーズや需要に応じた交通手段の活用 P.11

⑫地域主導による計画づくりや運営支援 P.11

みんなで築き上げる交通戦略

⑬公共交通等の利用促進に向けた情報提供や意識啓発の強化 P.13

⑭ユニバーサルデザインの説教区的な導入 P.13

⑮地域主導による計画づくりや運営支援【再掲】 P.13

⑯民間活力による新技術等の導入 P.13

目標と成果指標 P.14

進行管理 P.16

はじめに

本市の交通施策の基本方針「(仮称) にいがた都市交通戦略プラン[基本計画]」では、概ね 10 年間で目指す交通の将来像「県都新潟の拠点化と安心して暮らせるまち」を実現するため、5つの基本方針を定めています。

(仮称) にいがた都市交通戦略プラン[実施計画]では、計画の着実な推進のため、社会・経済状況の変化を踏まえ、4年間での計画とし、具体的な取り組みを示します

変化の激しい社会・経済状況に機敏に対応するため、各年度において取り組みの検証・評価を行い、着実な事業の進捗管理を実施し、「県都新潟の拠点化と安心して暮らせるまち」を実現します。

(仮称) にいがた都市交通戦略プラン[基本計画]

交通の将来像 「県都新潟の拠点化と安心して暮らせるまち」

将来像を実現するための5つの基本方針

基本方針 (視点：都心アクセスの強化)

多核連携型のまちづくりを支える交通戦略

基本方針 (視点：広域交通との連携強化)

都市の活力と拠点性を強化する交通戦略

基本方針 (視点：都心部の移動円滑化)

まちなかの賑わいを創出する交通戦略

基本方針 (視点：生活交通の確保維持・強化)

暮らしを支えるモビリティを地域で育む交通戦略

基本方針 (視点：市民や関係者による協働)

みんなで築き上げる交通戦略

(仮称)にいがた都市交通戦略プラン[実施計画]の計画期間

計画名	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
第3回新潟都市圏 パーソントリップ調査 総合都市交通計画	概ね 2025 年度を目標年次									
にいがた未来ビジョン	2022 年度を目標年次									
新潟市まち・ひと・しごと 創生総合戦略	2019 年度を目標年次									
新潟市都市計画基本方針 (都市計画マスター プラン)	概ね 2028 年度を目標年次とする									
新潟市立地適正化計画	概ね 2028 年度を目標年次とする									
(仮称)にいがた都市 交通戦略プラン [基本計画] *	基本方針 概ね 2028 年度を目標年次とする									
	具体的な 取り組み 概ね 2028 年度までの 10 年間の計画期間とする ただし、大きな社会・経済状況の変化などにより、必要に応じ見直す									
(仮称)にいがた都市 交通戦略プラン [実施計画]	2019~2022 年度 (4 年間) を計画期間とする				2023~2028 年度 (6 年間) を計画期間とする					
	計画の着実な推進のため、社会・経済状況の変化を踏まえ、前期・後期計画での実施計画を策定し、具体的な取り組みを示す									
新潟市地域公共交通網 形成計画	2019~2022 年度 (4 年間) を計画期間とする									

※ 基本計画は別途作成した。

(仮称)にいがた都市交通戦略プラン[実施計画] (2019~2022 年度)

本計画では、本市が今後 4 年間で取り組む施策やそれらを推進する取り組み、主な事業、その成果を評価するための指標をまとめています。

目標年次については、本市の最上位計画である「にいがた未来ビジョン」に合わせ、前期・後期計画として進捗管理します。

変化の激しい社会・経済状況に機敏に対応するため、各年度において取り組みの検証・評価を行うとともに、本計画を予算編成や行政改革と連動させ、限られた経営資源を効果的・効率的に活かしていきます。

基本方針 多核連携型のまちづくりを支える交通戦略

～ 都心アクセスの強化 ～

(仮称) にいがた都市交通戦略プラン[実施計画]

基本方針	具体的な取り組み	No.	施策名	事業概要	スケジュール				実施主体	上位・関連・連携計画名	
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度			
多核連携型のまちづくりを支える交通戦略											
① 都心方面を結ぶ公共交通の利用促進に向けたサービス強化											
	新たな鉄道駅の設置調査	1	新駅設置調査	鉄道沿線の既存市街地及び新市街地拡大において、新たな鉄道需要の発生を促すため、第3回パーソントリップ調査で提案がなされた(仮称) 上所島駅、二本木駅の設置実現に向けた調査を行い、公共交通のサービス強化と利用促進を図る。					新潟市都市政策部都市交通政策課	第3回新潟都市圏パーソントリップ調査	
	羽越本線・白新線の高速化促進・要望	2	羽越本線、白新線の高速化・羽越新幹線建設促進・要望	羽越本線及び白新線の複線化・高速化、羽越新幹線の建設促進を関係団体とともに、関係機関に対する要望や地域世論の喚起等を行い、都心方面を結ぶ公共交通サービス強化と利用促進を図る。					新潟市都市政策部都市交通政策課	新潟市国土強靱化地域計画など	
	路線バスの都心アクセス強化	3	南区方面バス向上アクセス・結節機能強化	本市で唯一鉄軌道系公共交通を有しない南区において、国道8号を基軸とし、路線バス及びコミュニティバスによるバス交通の充実により、新潟都心部及び周辺地域へのアクセス機能やバス路線相互の結節機能強化を高める。	生活交通改善プラン実施				新潟市南区地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	南区生活交通改善プラン	
4		深夜バスの運行	年末年始や歓送迎シーズン等で時季運行していた新潟駅前24時台発の定期バスを、一部路線で運行し都心アクセス強化を図る。						新潟交通株式会社		
5		モーニングライナーの運行	乗り換えをせず学校近くなどに到着する、平日の通学や通勤に便利な「モーニングライナー」を運行し都心アクセス強化を図る。							新潟交通株式会社	
	広域交通(県内都市間高速バス)維持	6	広域交通(県内都市間高速バス)維持	新潟港域都市圏全体での公共交通ネットワークの構築に向け、県内都市間高速バスについて、都心方面を結ぶ交通サービス強化に向け、利用状況を把握した上で、利用者の移動実態に合わせた運行形態を確認し、利用促進策を講じるとともに、事業者による自主運行が厳しい場合、代替策の検討及び行政による運行や支援を連携して行う。					新潟市都市政策部都市交通政策課	新潟市広域都市圏ビジョン	
	Niigata city Wi-Fiや多言語化サイトの整備	7	Niigata city Wi-Fiや多言語化サイトの整備	バス待ち環境や公共交通の利便性向上に資するため、Wi-Fi環境の充実や、新バスシステム情報サイトの多言語化などの整備を行い、公共交通のサービスレベルを向上させる。					新潟市都市政策部都市交通政策課 新潟市総務部ICT政策課		
	幹線道路の整備	8	幹線道路の整備 【新潟中央環状道路】	国際拠点港湾新潟港(東港区)から北区、江南区、南区、西区を経由し、西蒲区へ至る、延長約45キロメートルの幹線道路であり、各地域間の交流・連携の軸となるとともに、「防災・救援首都」としてのまちづくりや、本市の拠点性を高める重要な路線であることから、着実に整備を進めていく。						新潟市土木部道路計画課	第3回新潟都市圏パーソントリップ調査 新潟市国土強靱化地域計画など
9		幹線道路の整備 【国道403号小須戸田上バイパス】	新潟市、田上町、加茂市、三条市間の交通混雑の緩和、公共交通の定時性の確保を図ると共に交通事故対策を目的とし、磐越自動車道新津西ICへのアクセス向上、安全で安心な道路交通の実現化を図る。	整備					新潟市土木部道路計画課		
10		万代島ルート線の整備	本市の都心部と高速道路及び新潟バイパスや亀田バイパスといった広域幹線道路とを効率的に結び、都心部に流入する自動車交通を担い萬代橋の交通負荷軽減など都心内の交通混雑の緩和、交通事故の削減、まちづくりの支援などを図る。						国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所		
11		国道7号、8号、49号、116号の整備							国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所		
		12	高規格道路・地域高規格道路の整備(磐越道4車線化、新潟東西道路等)						国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所 NEXCO東日本		
② 鉄道・バス・タクシー等の交通手段間の役割分担と結節強化											
	交通手段間の役割分担	13	公共交通の役割分担を議論する会議の開催	公共交通の役割分担について、市民や運行事業者、関係機関などと議論を行う会議を開催し、必要に応じて社会実験を実施する。					新潟市都市政策部都市交通政策課		
14		デマンド交通、乗合タクシーの制度制定	乗車バス停から降車バス停等を利用者のニーズに応じて定時運行するもので、現在北区、南区で社会実験を実施している。社会実験を通じて課題整理及び制度を制定する。						新潟市各区域域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	各区生活交通改善プラン	
	交通結節点の整備・利便性向上	15	新駅設置調査(再掲)	鉄道沿線の既存市街地及び新市街地拡大において、新たな鉄道需要の発生を促すため、第3回パーソントリップ調査で提案がなされた(仮称) 上所島駅、二本木駅の設置実現に向けた調査を行う。					新潟市都市政策部都市交通政策課	第3回新潟都市圏パーソントリップ調査	
16		駅前広場整備による結節強化	現在JR小針駅の駅前広場整備を進めており、巻駅・越後石山駅についても、調整を図りながら広場整備を促進することでバス路線との結節強化を図る。	JR小針駅前広場整備					新潟市都市政策部都市交通政策課 新潟市各区域建設課		
17		駅にアクセスするバスの利便性向上	駅前広場等が整備された箇所において、路線バスやコミュニティバスの乗り入れ等について運行事業者と協議し、駅にアクセスするバスの利便性を向上することで結節強化を図る。						新潟市都市政策部都市交通政策課		
18		バス待ち環境の整備(バス停上屋整備など)	雨・風や夏の暑さ、冬の寒さから利用者を守るバス停上屋の整備等を積極的に行い、バス待ち環境を向上させることで、バス利用の促進を図る。						新潟市都市政策部都市交通政策課	バス停上屋整備計画	
19		交通結節点における駐輪場の整備	JR新潟駅において、連続立体交差事業により生まれる高架下のスペースを活用した駐輪場整備を行い、利便性の向上や交通結節点としての機能向上を図る。						新潟市土木部土木総務課 新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所 新潟市中央区建設課	新潟市自転車利用環境計画	
	パークアンドライド駐車場の整備	20	パークアンドライド駐車場整備	過度な自動車依存からの脱却と交通面からの環境負荷の軽減を図るため、交通結節点でのパークアンドライド駐車場の整備・利活用を進めるほか、空港や港など広域交通利用者のニーズも踏まえ整備個所の検討を進め、各モードの役割分担を図る。					新潟市都市政策部都市交通政策課	移動しやすいまちづくり基本計画	
21		自転車走行空間ネットワークの整備	各区域結節点や主要施設を結ぶ自転車走行空間ネットワークの整備	歩行者の安全を第一優先とし、自転車が安全に快適に走行できる連続した自転車走行空間ネットワークの形成を図るとともに結節点間の連携を強化する。					新潟市土木部土木総務課	新潟市自転車利用環境計画	
22		まちづくりと連携した駐車場施策	まちづくりと連携した駐車場施策	駐車場の量的な確保に重点を置いた現在の駐車場整備計画の見直しや、公共交通や歩行者を重視したまちづくり施策と連携した駐車場施策を検討する。	計画見直し				新潟市都市政策部都市計画課	新潟市駐車場整備計画	

基本方針	具体的な取り組み	No.	施策名	事業概要	スケジュール				実施主体	上位・関連・連携計画名
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
③災害に強く、健全な社会活動や渋滞緩和等に必要な道路の整備										
幹線道路の整備（再掲）		23	幹線道路の整備（再掲） 【新潟中央環状道路】	国際拠点港湾新潟港（東港区）から北区、江南区、南区、西区を經由し、西蒲区へ至る、延長約45キロメートルの幹線道路であり、各地域間の交流・連携の軸となるとともに、「防災・救援首都」としてのまちづくりや、本市の拠点性を高める重要な路線であることから、着実に整備を進めていく。		整備			新潟市土木部道路計画課	第3回新潟都市圏パーソントリップ調査 新潟市国土強靱化地域計画など
		24	幹線道路の整備（再掲） 【国道403号小須戸田上バイパス】	新潟市、田上町、加茂市、三条市間の交通混雑の緩和、公共交通の定時性の確保を図ると共に交通事故対策を目的とし、磐越自動車道新津西SICへのアクセス向上、安全で安心な道路交通の実現化を図る。	整備				新潟市土木部道路計画課	
		25	万代島ルート線の整備（再掲）	本市の都心部と高速道路及び新潟バイパスや亀田バイパスといった広域幹線道路とを効率的に結び、都心部に流入する自動車交通を担い萬代橋の交通負荷軽減など都心内の交通混雑の緩和、交通事故の削減、まちづくりの支援などを図る。		整備			国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所	
		26	国道7号、8号、49号、116号の整備（再掲）			整備			国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所	
		27	高規格道路・地域高規格道路の整備（磐越道4車線化、新潟東西道路等）（再掲）			整備			国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所 NEXCO東日本	
緊急輸送道路の機能確保		28	緊急輸送道路の機能確保	緊急輸送道路等の沿線・沿線建築物について優先的に耐震化を促進するほか、緊急輸送道路の無電柱化を着実に進め、災害に強いまちの形成を図る。	計画見直し	耐震化・無電柱化促進			新潟市危機管理防災局防災課 各道路管理者	新潟市国土強靱化地域計画
		29	緊急輸送道路の道路橋梁等の耐震対策等	災害防除の要対策箇所など道路の防災対策、緊急輸送道路上橋梁の耐震化を着実に進め、災害に強い道路整備を図る。	計画見直し	防災対策			新潟市危機管理防災局防災課 各道路管理者	新潟市国土強靱化地域計画
		30	緊急車両の進入路、避難路の整備	居住地において、緊急車両の進入路、避難路となる幹線道路（幅員7.5m以上）や橋梁の整備を着実に進め、災害に強い道路整備を図る。	計画見直し	整備促進			新潟市危機管理防災局防災課 各道路管理者	新潟市国土強靱化地域計画
交通安全対策の推進		31	道路・交通安全施設等の整備による交通安全の推進	地域の交通実態に応じた交通安全施設の整備等各種対策を推進し、交通事故防止を図る。		交通安全施設の整備推進			新潟市市民生活部市民生活課	新潟市交通安全実施計画
④地域のまちなかへの居住・施設立地誘導との連携										
	各区中心部への居住誘導	32	居住誘導区域における緩やかな居住の誘導	市街地における生活利便施設やサービス機能の維持・充実に図りながら、本市の居住の柱として一定の居住人口密度を維持し、生活圏（区）の自律性を確保するため、公共交通と連携しながら適正な土地利用を緩やかに誘導する。		居住誘導（必要に応じて見直し）			新潟市都市政策部都市計画課	新潟市立地適正化計画
	まちづくりと連携した駐車場施策（再掲）	33	まちづくりと連携した駐車場施策(再掲)	駐車場の量的な確保に重点を置いた現在の駐車場整備計画の見直しや、公共交通や歩行者を重視したまちづくり施策と連携した駐車場施策を検討する。	計画見直し				新潟市都市政策部都市計画課	新潟市駐車場整備計画

基本方針 都心活力と拠点性を強化する交通戦略

～ 広域交通との連携強化 ～

基本方針	具体的な取り組み	No.	施策名	事業概要	スケジュール				実施主体	上位・関連・連携計画名
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
都市の活力と拠点性を強化する交通戦略										
⑤土地利用と連携した基幹公共交通軸の形成										
	基幹公共交通軸の段階的整備	34	基幹公共交通軸の段階的整備	環状型の基幹公共交通軸の形成によるまちなかの回遊性向上及び、鉄道の高架化による長湯方面から万代・古町地区へのアクセス性向上を目指し、段階的な整備を促進する。		第2期区間BRT導入促進			新潟市都市政策部都市交通政策課	第3回新潟市圏パーソントリップ調査
	都心軸沿線における都市機能誘導	35	都市機能誘導区域における都市機能誘導施設の緩やかな誘導	多様な交流・賑わいを創出し、本市全体の原動力となる高い拠点性を発揮させるため、基幹公共交通軸の強化とともに、都市再生の質の向上や民間投資の呼び込みを図りながら、医療・福祉・商業・業務等の高次都市機能を都市機能誘導区域に緩やかに誘導・集約する。		利用者が多い区間BRT導入促進			新潟市都市政策部都市計画課	新潟市立地適正化計画
		36	「新潟市都市再開発方針」に基づく計画的な再開発の促進	特に一体的かつ総合的に市街地の再開発を促進すべき地区として古町・万代・新潟駅周辺地区を定め、商業、業務、交流機能の強化、高次都市機能の集積など総合的な整備、都市型住宅の誘導、良好な住環境・街並みの誘導を図るとともに、誰もが快適に移動できる交通環境として、自動車の利便性よりも歩行者、自転車や公共交通による移動の利便性を優先し、その向上に取り組むなど、土地の有効活用、市街地のリニューアルを図る。		都市機能誘導（必要に応じて見直し）				
	鳥屋野湯南部開発計画の推進	37	鳥屋野湯南部開発計画の推進	基幹公共交通軸沿線である鳥屋野湯南部地区について、民間活力の導入を図りながら、新潟県、新潟市、亀田郷土地改良区の三者で整備を推進する。		再開促進			新潟市都市政策部まちづくり推進課	
⑥広域交通と二次交通が連携した主要拠点間のアクセス強化と周遊強化										
	新潟駅高架化全面開業に向けた整備	38	新潟駅高架全面開業に向けた整備	新潟駅付近において鉄道を高架化することにより2箇所の踏切を撤去し、都市内交通の円滑化を図るとともに、鉄道を挟んだ南北市街地の一体化による都市の活性化を図る。		整備			新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所 東日本旅客鉄道株式会社	
	新潟駅周辺整備事業による万代広場及び高架下交通広場の整備	39	新潟駅周辺整備事業による万代広場及び高架下交通広場の整備	日本海側の広域拠点駅として新たに生まれ変わる新潟駅と一体となって都市の拠点を形成するとともに、交通結節点としての機能を強化し、利用者の利便性を飛躍的に向上させるため、新潟駅付近連続立体交差事業と連携し、万代広場及び高架下交通広場の一体的な整備を実施する。		整備			新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所 東日本旅客鉄道株式会社	
	空港アクセスの改善	40	空港リムジンバスの運行支援	県内及び近隣県からの空港利用者や訪日外国人旅行者など新潟空港利用者のさらなる増加を目指し、県が主体となって運行する空港リムジンバスの支援を通じ、空港アクセスの段階的な改善を図る。		短期策	中期策		新潟市都市政策部都市交通政策課	新潟空港アクセス改善の基本的な考え方（案）
	羽越本線・白新線の高速化促進・要望（再掲）	41	羽越本線、白新線の高速化・羽越新幹線建設促進・要望（再掲）	羽越本線及び白新線の複線化・高速化、羽越新幹線の建設促進を関係団体とともに、関係機関に対する要望や地域世論の喚起等を行い、都心方面を結ぶ公共交通サービス強化と利用促進を図る。		早期実現に向けた要望、機運醸成の取り組み			新潟市都市政策部都市交通政策課	新潟市国土強靱化地域計画など
	Niigata city Wi-Fiや多言語化サイトの整備（再掲）	42	Niigata city Wi-Fiや多言語化サイトの整備（再掲）	バス待ち環境や公共交通の利便性向上に資するため、Wi-Fi環境の充実や、新バスシステム情報サイトの多言語化などの整備を行い、公共交通のサービスレベルを向上させ、交流人口の拡大を図る。		整備			新潟市都市政策部都市交通政策課 新潟市総務部ICT政策課	

基本方針 まちなかの賑わいを創出する交通戦略

～ 都心部での移動円滑化 ～

基本方針	具体的な取り組み	No.	施策名	事業概要	スケジュール				実施主体	上位・関連・連携計画名
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
まちなかの賑わいを創出する交通戦略										
⑦多様な手段による回遊性向上と結節強化										
	新潟駅周辺整備事業による万代広場及び高架下交通広場の整備（再掲）	43	新潟駅周辺整備事業による万代広場及び高架下交通広場の整備（再掲）	交通結節点として鉄道との乗換え機能などを強化するため、駅付近に点在しているバス停を集約し、利便性の高いバスターミナルとして整備を実施する。					新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所 東日本旅客鉄道株式会社	
	自転車走行空間ネットワークの整備（再掲）	44	各区結節点や主要施設を結ぶ自転車走行空間ネットワークの整備（再掲）	歩行者の安全を第一優先とし、自転車が安全に快適に走行できる連続した自転車走行空間ネットワークの形成を図り結節点間の連携を強化する。					新潟市土木部土木総務課	新潟市自転車利用環境計画
	新潟駅周辺、万代、古町地区の駐輪場整備（再掲）	45	新潟駅周辺、万代地区、古町地区の駐輪場整備（再掲）	自転車利用者が集中する公共交通結節点やまちなかにおいて、様々な自転車利用者のニーズを踏まえ、利用しやすい駐輪場を確保し、路上駐輪の削減や自転車利用促進を図る。					新潟市土木部土木総務課 新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所 新潟市中央区建設課	新潟市自転車利用環境計画
	まちづくりと連携した駐車場施策（再掲）	46	まちづくりと連携した駐車場施策(再掲)	駐車場の量的な確保に重点を置いた現在の駐車場整備計画の見直しや、公共交通や歩行者を重視したまちづくり施策と連携した駐車場施策を検討する。					新潟市都市政策部都市計画課	新潟市駐車場整備計画
	シェアサイクルの推進	47	にいがたレンタサイクルの推進	自転車の利用促進、新潟市の街並みの楽しさ、まちの良さを再確認するため放置自転車を再利用し、各ステーションで貸出・返却ができる回遊性の高いシェアサイクルの運営を推進する。					にいがたレンタサイクル研究会 新潟市中央区建設課*	
	水運を活用した回遊性向上	48	水運を活用した回遊性向上	みなとびあから新潟ふるさと村区間にて運航している信濃川ウォーターシャトルをはじめ、水運を活用した事業を推進し回遊性の向上を図る。					信濃川ウォーターシャトル株式会社 新潟市都市政策部都市交通政策課*	
	歩いて楽しい賑わいのある空間整備に向けた調査	49	賑わいを創出する歩行者空間整備に向けた調査	新潟駅と万代シテイ、万代島、萬代橋周辺の各拠点間の歩行者導線軸について、歩いて楽しいと感じることが出来る賑わい空間を創出する歩行者空間整備に向けた調査を実施する。					新潟市都市政策部都市交通政策課	
⑧都心部への通過交通排除に資する道路の整備										
	万代島ルート線の整備（再掲）	50	万代島ルート線の整備（再掲）	本市の都心部と高速道路及び新潟バイパスや亀田バイパスといった広域幹線道路とを効率的に結び、都心部に流入する自動車交通を担い萬代橋の交通負荷軽減など都心内の交通混雑の緩和、交通事故の削減、まちづくりの支援などを図る。					国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所	
	新潟駅周辺整備地区の幹線道路の整備	51	新潟駅周辺整備地区の幹線道路の整備	鉄道を横断する4本の幹線道路整備のほか、出来島上木戸線の拡幅等により、安全かつ円滑な自動車交通の確保、歩行者や自転車の安全性・利便性の確保、電線類地中化による都市景観や都市防災の向上を図る。					新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所	
⑨公共交通や歩行者自転車空間創出に資する道路空間の再構築										
	道路機能の分担と再構築による多様な道路空間の整備	52	歩行者自転車空間創出に資する道路環境整備【西5-270号線】	当該地区内における道路は国道8号へのアクセスとして交通量が多く、安全な歩行者導線を確保が課題となっていることから、廃線となった旧電鉄跡地を活用し、安全で快適な歩行者自転車空間を創出する。					新潟市土木部道路計画課	
		53	無電柱化の推進						国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所	
		54	万代クロッシングの利活用の検討						国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所	
		55	光のページェントなどによる歩行者空間の賑わい創出	光のページェントなど民間事業者の活力により歩行者空間の賑わい創出に資する事業を推進する。					NIIGATA光のページェント実行委員会 新潟市観光・国際交流部観光政策課*	
	自転車走行空間ネットワークの整備（再掲）	56	各区結節点や主要施設を結ぶ自転車走行空間ネットワークの整備（再掲）	歩行者の安全を第一優先とし、自転車が安全に快適に走行できる連続した自転車走行空間ネットワークの形成を図り結節点間の連携を強化する。					新潟市土木部土木総務課	新潟市自転車利用環境計画
	新潟駅周辺、万代、古町地区の駐輪場整備（再掲）	57	新潟駅周辺、万代地区、古町地区の駐輪場整備（再掲）	自転車利用者が集中する公共交通結節点やまちなかにおいて、様々な自転車利用者のニーズを踏まえ、利用しやすい駐輪場を確保し、路上駐輪の削減や自転車利用促進を図る。					新潟市土木部土木総務課 新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所 新潟市中央区建設課	新潟市自転車利用環境計画
	ぐるりん新潟島の利便性向上	58	ぐるりん新潟島(新潟島一周自転車道)の利便性の向上	サイクリングやジョギングのコースとして市民や観光客に親しまれる歩行者自転車空間「ぐるりん新潟島」のさらなる利便性向上として、距離標の改善等に取り組む。					新潟市中央区建設課	
	歩いて楽しい賑わいのある空間整備に向けた調査（再掲）	59	賑わいを創出する歩行者空間整備に向けた調査（再掲）	新潟駅と万代シテイ、万代島、萬代橋周辺の各拠点間の歩行者導線軸について、歩いて楽しいと感じることが出来る賑わい空間を創出する歩行者空間整備に向けた調査を実施する。					新潟市都市政策部都市交通政策課	

*：関係課

基本方針 暮らしを支えるモビリティを地域で育む交通戦略
～ 生活交通の確保維持・強化 ～

基本方針	具体的な取り組み	No.	施策名	事業概要	スケジュール				実施主体	上位・関連・連携計画名
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
暮らしを支えるモビリティを地域で育む交通戦略										
⑩地域のまちづくりと連携した区内公共交通網の形成										
	区内公共交通網の形成	60	地域公共交通網形成計画の策定・実施	交通政策基本法に則り、まちづくりと連携し、面的な公共交通ネットワークを再構築することが求められるなか、持続可能な公共交通ネットワークの形成を、地域公共交通網形成計画の策定・実施により推進する。					新潟市都市政策部都市交通政策課	
	区バスの利便性向上に向けた取り組み (ニーズ調査、社会実験、情報提供、広報等を含む)	61	区バスの利便性の向上と利用促進に向けた取り組み (ニーズ調査、社会実験、情報提供、広報等を含む)	政令指定都市移行による区役所への移動など、区制に伴う新たな移動ニーズや区のまちづくりへの対応として運行している。新たな施設や結節点整備等と連携しながら運行計画を見直し、利便性向上及び利用促進を図り、区内公共交通網を形成する。					新潟市各区地域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略 各区生活交通改善プラン
地域内道路環境の整備	安全に通行できる道路環境整備 【国道113号山ノ下橋】	62	安全に通行できる道路環境整備 【国道113号山ノ下橋】	山ノ下橋は竣工から90年以上経過し老朽化が著しいことから、当該路線の整備により道路としての安全性の確保はもとより、防災機能の向上及びアクセス性の改善を図る。					新潟市土木部道路計画課	
	安全に通行できる道路環境整備 【鳥屋野女池線および南7-69号線】	63	安全に通行できる道路環境整備 【鳥屋野女池線および南7-69号線】	当該路線の沿線には家屋等が連担しており見通しが悪く幅員も狭小であり、災害時において緊急車両の通行に支障をきたす恐れがあるため、当該路線の整備により、避難・緊急輸送機能などの防災機能の向上を図る。					新潟市土木部道路計画課	
	安全に通行できる道路環境整備 【曾和上新町線】	64	安全に通行できる道路環境整備 【曾和上新町線】	主要地方道新潟寺泊線が慢性的な交通渋滞により新潟市街地中心部へのアクセスに不自由をきたしているとともに、交通安全面での課題を抱えていることから、当該路線の整備により、アクセス性の改善、交通渋滞の緩和及び交通安全を図る。					新潟市土木部道路計画課	
	安全に通行できる道路環境整備 【網川原線2号】	65	安全に通行できる道路環境整備 【網川原線2号】	網川原線2号は、一般国道7号と市道笹口紫竹山線（通称：弁天線）を東西方向に結ぶ路線であり、直轄事業で既に事業化されている一般国道7号栗ノ木道路事業に併せて整備することにより、地域の円滑な交通の確保を図る。					新潟市土木部道路計画課	
	安全に通行できる道路環境整備 【旭町日和山線】	66	安全に通行できる道路環境整備 【旭町日和山線】	当該路線は、小学校の通学路に指定されているが現道が幅員が5mと狭く歩道が未整備であるとともに郊外から市内中心部に利用する車両の進入が多いことから、歩道整備、交差点改良を行い、通学児童を含む歩行者の安全確保を図る。					新潟市土木部道路計画課	
	安全に通行できる道路環境整備 【小針線】	67	安全に通行できる道路環境整備 【小針線】	当該路線は通学路として指定されているが、幅員が狭く歩道が無いことから交通混雑が生じているとともに、歩行者にとって危険な状況となっていることから、歩道と車道の整備・拡幅を行い、交通混雑の緩和と歩行者の安全を確保を図る。					新潟市土木部道路計画課	
	路線バスの運行支援	68	路線バスの運行支援	通勤や通学、通院や買い物など、生活に必要な移動手段を確保するため、運行に伴い欠損が生じている路線バスに対して補助等の運行支援を行い、区内公共交通網を維持・確保する。					新潟市都市政策部都市交通政策課	新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略 移動しやすいまちづくり基本計画など
⑪多様なライフステージのニーズや需要に応じた交通手段の活用										
	住民バス運行支援や社会実験の実施	69	住民バス運行支援や社会実験の実施	通勤や通学、通院や買い物など、地域住民の必要最低限の生活交通の確保や、公共交通の空白不便地域における生活交通の確保として、住民組織が主体となって運行する住民バスの助言や支援、必要に応じて社会実験を行う。					新潟市各区地域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略 各区生活交通改善プラン
	デマンド交通、乗合タクシー等の社会実験の実施 (再掲)	70	デマンド交通、乗合タクシーの制度制定(再掲)	乗車バス停から降車バス停等を利用者のニーズに応じて定時運行するもので、現在北区、南区で社会実験を実施している。社会実験を通じて課題整理及び制度を制定する。					新潟市各区地域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	各区生活交通改善プラン
多様なニーズに応じたサービスの検討実施	高齢者おでかけ促進事業の効果的な継続	71	高齢者おでかけ促進事業の効果的な継続	超高齢社会の進展を迎えるなか、高齢者のバス利用の促進と健康寿命の延伸、医療費の抑制など喫緊の課題に対応するため、市内在住の65歳以上の高齢者を対象にバス運賃を半額とし、高齢者のお出掛けを支援する。					新潟市都市政策部都市交通政策課	
	公共交通の役割分担を議論する会議の開催(再掲)	72	公共交通の役割分担を議論する会議の開催(再掲)	公共交通の役割分担について、市民や運行事業者、関係機関などと議論を行う会議を開催し、必要に応じて社会実験を実施する。					新潟市各区地域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	各区生活交通改善プラン
	高齢者安全運転サポート事業(高齢運転者講習会等)	73	高齢者安全運転サポート事業(高齢運転者講習会等)	高齢者の安全運転をサポートする取り組みとして、「交通事故に遭わない、起こさない」という意識を高齢者一人ひとりに普及させるため、交通安全講習を実施し、座学のほか、参加・体験・実践型の交通安全教育を実施する。					新潟市各市民生活部市民生活課	新潟市交通安全実施計画
	ワンコインバス(新潟駅万代周辺、新潟大学、清心学園、文理高校、青山循環線、青陵ライナー)	74	ワンコインバス(新潟駅万代周辺、新潟大学、清心学園、文理高校、青山循環線、青陵ライナー)	新潟駅万代周辺や、大学、高校周辺でのバス利用を100円とする取り組みであり、多様なライフステージに応じたサービスを展開する。					新潟交通株式会社	
	こどもりゅーと50円	75	こどもりゅーと50円	夏休み期間、小学生以下を対象にICカードを利用して50円でバスを乗車できる取り組みであり、多様なライフステージのニーズに応じたサービスを展開する。					新潟交通株式会社	
	新たなシェアサイクルの導入支援	76	新たなシェアサイクルの導入支援	多様な交通手段を選択することができるまちの実現に向け、民間事業者が進めるシェアサイクルについて、積極的に導入を支援する。					新潟市都市政策部都市交通政策課	
⑫地域主導による計画づくりや運営の支援										
住民バス団体の立ち上げ・運営支援	住民バス運行支援や社会実験の実施(再掲)	77	住民バス運行支援や社会実験の実施(再掲)	通勤や通学、通院や買い物など、地域住民の必要最低限の生活交通の確保や、公共交通の空白不便地域における生活交通の確保として、住民組織が主体となって運行する住民バスの助言や支援、必要に応じて社会実験を行う。					新潟市各区地域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略 各区生活交通改善プラン
	住民バス事業の立ち上げ支援(事業企画立ち上げ、地域交通団体設立など)	78	住民バス事業の立ち上げ支援(事業企画立ち上げ、地域交通団体設立など)	バス路線の廃止や公共交通の空白・不便地域における生活交通を確保するため、住民組織が主体となって運行する住民バス事業を新たに立ち上げる地域に対し、その立ち上げを支援する。					新潟市各区地域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	各区生活交通改善プラン
行政と交通事業者、地域住民の連携	交通事業者、地域との連携(バス路線網検討)	79	交通事業者、地域との連携(バス路線網検討)	交通事業者や地域住民との連携を密に図り、地域の実情に合った地域交通網の形成を図る。					新潟市各区地域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	各区生活交通改善プラン
	つかいやすい公共交通を議論する会議の開催	80	つかいやすい公共交通を議論する会議の開催	江南区において地域全体で築いてきた公共交通を、地域全体で守り、育てていくため、意見交換等の場を積極的に設け、市民や公共交通関係者同士の連携強化を図る。					新潟市各区地域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	江南区生活交通改善プラン

基本方針 みんなで築き上げる交通戦略

～ 市民や関係者による協働 ～

基本方針	具体的な取り組み	No.	施策名	事業概要	スケジュール				実施主体	上位・関連・連携計画名
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
みんなで築き上げる交通戦略										
⑬公共交通等の利用促進に向けた情報提供や意識啓発の強化										
モビリティ・マネジメントの実施		81	モビリティマネジメントの推進実施	公共交通の利便性向上と併せ、市民の意識啓発を通じ、過度な自動車依存を見つめ直してもらい公共交通などの環境に優しい交通手段へと自発的な転換を促すコミュニケーションを中心とした交通施策を実施し、意識啓発の強化を図る。					新潟市都市政策部都市交通政策課	
		82	新バスシステム情報サイト等公共交通に関する情報発信・意識啓発（ガイド作成、広報誌・インターネット掲載、時刻表配布、案内看板設置など）	新バスシステム情報サイトによる情報発信や、区内公共交通の利用促進に資する情報発信や意識啓発を、各区生活交通改善プランに基づき区単位で実施する。					新潟市各区地域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	各区生活交通改善プラン
		83	運行事業者による公共交通利用促進啓発（「ぶらばす」など）	各運行事業者が公共交通の利用促進に資する啓発活動を実施する。（新潟交通株式会社では、路線バスを使用して訪れることができる観光スポットや話題の店舗を巡る「ぶらばす」などをホームページで公開し、利用促進を図っている。）					新潟交通株式会社	
		84	企画バスの運行（バレンタイン企画（HapinessTicket、ラッピングバス）など）	バレンタイン・ホワイトデーに、ラッピングバスの走行や、ペア二人で使える一日乗車券「HapinessTicket」（ハピネス・チケット）を販売するなどの企画を展開するなど、バス利用の促進を図る。					新潟交通株式会社	
		85	イベントの開催（バスまつり等）	各種イベントでPR等を実施し、公共交通の利用促進を図る。					新潟市都市政策部都市交通政策課 新潟交通株式会社	
エコモビリティライフの推進		86	エコモビリティライフ推進事業	公共交通機関、自転車、徒歩、自家用車などを賢く使い分け、環境にやさしい交通手段を利用するライフスタイルを普及促進推進し、市内事業者等の自主的な低炭素交通の取組みを推進する。					新潟市環境部環境政策課	新潟市地球温暖化対策実行計画
		87	エコ通勤、ノーマイカーデーの推進	市役所職員対象のノーマイカーデーを月2回設定し、自主的なエコ通勤を推進していく。					新潟市環境部環境政策課	新潟市地球温暖化対策率先実行計画
スマートウエルネスシティの推進		88	スマートウエルネスシティの推進	スマートウエルネスシティ（健康都市づくり。生涯にわたり健やかで幸せに暮らせるまちを創造すること）を推進するため、市民が積極的に外に出かけ、活動量を増やす等の健康づくりを支援する。					新潟市保健衛生部保健所健康増進課	新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略
		89	にいがた未来ポイント事業	「環境健康都市」を実現するため、市民のエコ活動・健康づくりにポイントを発行し、環境・健康に配慮したライフスタイルの普及拡大を図る。	方針検討・実施				新潟市保健衛生部保健所健康増進課 新潟市環境部環境政策課	新潟市健康づくり推進基本計画（第2次） 新潟市地球温暖化対策実行計画（地域推進版）
ICT技術を活用した情報提供・意識啓発		90	ICT技術を活用した情報提供・意識啓発	ICT技術を活用した公共交通に関する情報提供・意識啓発を実施する。					新潟市都市政策部都市交通政策課	
⑭ユニバーサルデザインの積極的な導入										
スマートウエルネスシティの推進（再掲）		91	スマートウエルネスシティの推進（再掲）	スマートウエルネスシティ（健康都市づくり。生涯にわたり健やかで幸せに暮らせるまちを創造すること）を推進するため、市民が積極的に外に出かけ、活動量を増やす等の健康づくりを支援する。					新潟市保健衛生部保健所健康増進課	新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略
鉄道駅のバリアフリー化		92	鉄道駅のバリアフリー化	利用者3,000人以上である巻駅・越後石山駅について、調整を図りながらバリアフリー化を実施するとともに、利用者3,000人未満の駅について、引き続きJRにバリアフリー化の要望を実施する。					新潟市都市政策部都市交通政策課	新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略
ノンステップバス、ユニバーサルデザインタクシー、バリアレス縁石の導入		93	ノンステップバス、ユニバーサルデザインタクシー、バリアレス縁石の導入	誰もが快適に利用できる交通環境の整備として小型ノンステップバスの導入、また、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインタクシーの導入を図るとともに、バス停と乗降口の段差や隙間を解消する先進的なバリアレス縁石の導入を進める。					新潟市都市政策部都市交通政策課	
Niigata city Wi-Fiや多言語化サイトの整備（再掲）		94	Niigata city Wi-Fiや多言語化サイトの整備（再掲）	バス待ち環境や公共交通の利便性向上に資するため、Wi-Fi環境の充実や、新バスシステム情報サイトの多言語化などの整備を行い、公共交通のサービスレベルを向上させる。					新潟市都市政策部都市交通政策課 新潟市総務部ICT政策課	
⑮地域主導による計画づくりや運営の支援【再掲】										
住民バス団体の立ち上げ・運営支援（再掲）		95	住民バス運行支援や社会実験の実施（再掲）	通勤や通学、通院や買い物など、地域住民の必要最低限の生活交通の確保や、公共交通の空白不便地域における生活交通の確保として、住民組織が主体となって運行する住民バスの助言や支援、必要に応じて社会実験を行う。					新潟市各区地域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略 各区生活交通改善プラン
		96	住民バス事業の立ち上げ支援（事業企画立ち上げ、地域交通団体設立など）（再掲）	バス路線の廃止や公共交通の空白・不便地域における生活交通を確保するため、住民組織が主体となって運行する住民バス事業を新たに立ち上げる地域に対し、その立ち上げを支援する。					新潟市各区地域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	
行政と交通事業者、地域住民の連携（再掲）		97	交通事業者、地域との連携（バス路線網検討）（再掲）	交通事業者や地域住民との連携を密に図り、地域の実情に合った地域交通網の形成を図る。					新潟市各区地域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	各区生活交通改善プラン
		98	つかいやすい公共交通を議論する会議の開催（再掲）	江南区において地域全体で築いてきた公共交通を、地域全体で守り、育てていくため、意見交換等の場を積極的に設け、市民や公共交通関係者同士の連携強化を図る。					新潟市各区地域課・地域総務課 新潟市都市政策部都市交通政策課	江南区生活交通改善プラン
⑯民間活力による新技術等の導入										
自動運転技術、次世代自動車の導入支援		99	自動運転技術の導入支援	運転士不足や交通空白地域などの課題解決が期待される自動運転技術について、日々技術が進歩していることから、開発動向を確認しながら導入を支援していく。					新潟市都市政策部都市交通政策課	
		100	次世代自動車の導入支援	環境に優しい水素バス、EVバスなどの導入を促進するほか、小型カートや小型バスなどを活用したラストワンマイル自動運転などの開発状況などを踏まえながら、社会実験の誘致や導入の支援を進める。					新潟市環境部環境政策課 新潟市都市政策部都市交通政策課	新潟市スマートエネルギー推進計画
		101	新たなシェアサイクル、カーシェアの導入支援	多様な交通手段を選択することができるまちの実現に向け、民間事業者が進めるシェアサイクルやカーシェアについて、積極的に導入を支援する。					新潟市都市政策部都市交通政策課	
ICT技術の活用		102	交通関連ビッグデータの活用（再掲）	携帯電話基地局データ、携帯電話GPSデータ、交通系ICデータなどのビッグデータを収集・蓄積し、様々な交通施策に活用していけるように、事業者の協力を得ながら取り組む。					新潟市都市政策部都市交通政策課	

成果指標の設定

新たな交通の将来像の実現に向けた取り組みの効果を検証するため、次の成果指標を設定します。

成果指標1【拠点化の視点】

路線バスにおける全国相互利用 IC カード利用者数の増加

①成果指標の設定理由

交流人口の増加を検証するため、路線バスにおける全国相互利用 IC カード利用者数の増加を指標とします。

②成果指標の考え方

来訪者の多くは、りゅーとカードを所有していないと想定されることから、路線バスにおける全国相互利用 IC カード(*)利用者数とします。

(*) 全国相互利用 IC カード：10 種類からなる交通系 IC カードで、原則どこのエリアにおいても相互利用が可能である。

③目標値の考え方

路線バスにおける全国相互利用 IC カード利用者数を現状の324 万人/年から、広域交通と二次交通の連携を強化することで、2022 年度までに 386 万人/年へ増加させます。

【指標】 路線バスにおける全国相互利用 IC カード利用者数の増加

324 万人/年（2017 年度）→386 万人/年（2022 年度）

【目標値算定根拠】

（現況値）×（過去5年間における観光入込客数の傾向）

⇒（2017 年度路線バス全国相互利用 IC カード利用者数）×

（2016 年度観光入込客数 ÷ 2011 年度観光入込客数）

⇒（324 万人/年）×（1,860 ÷ 1,560 万人/年）=386 万人/年

成果指標2【拠点化の視点】 精査中

都心軸のバス停（新潟駅、万代シティ、古町）利用者数の増加

①成果指標の設定理由

まちの賑わい創出を検証するため、都心軸のバス停利用者数を指標とします。

②成果指標の考え方

指標とするバス停は、新潟駅・万代シティ・古町とし合算利用者数（乗降者数）とします。

③目標値の考え方

本市の人口は 2005 年をピークに減少傾向にあり、主要バス停の利用者数も減少傾向にあります。基幹公共交通軸を段階的に整備し、都心部での移動円滑化を向上させることで現状 1,561 万人/年から、2022 年度までに〇万人/年へ増加させます。【目標値精査中】

【指標】 都心軸のバス停（新潟駅、万代シティ、古町）利用者数の増加
1,561 万人/年（2017 年度）→〇万人/年（2022 年度）

【目標値算定根拠】

精査中

成果指標3：【市民生活の視点】 精査中

利便性の高い公共交通サービス圏域割合の増加

①成果指標の設定理由

誰からも選ばれるまちとなる公共交通環境の構築達成度を検証するため、利便性の高い公共交通サービス圏域割合の増加を指標とします。

②成果指標の考え方

指標とする利便性の高い公共交通サービス圏域割合は、公共交通サービス圏域に対する、利便性の高い公共交通サービス圏域の割合とします。

利便性の高い公共交通サービス圏域 / 公共交通サービス圏域

利便性の高い公共交通サービス圏域の定義は以下のとおりとします。

- ・鉄道：鉄道駅から半径 500m。
- ・バス：日当たり運行本数が 100 本以上(*1)のバス路線、且つ、定時性の目標達成率(*2)が、全路線の平均値 80.6%（2017 年度）以上となっているバス路線のバス停から半径 300m。

(*1)：日当たり運行本数を 100 本に設定した理由

(a)本市の路線バス運行時間（16 時間）から、(b)望ましいバスの運行間隔（20 分）を除いた値として、日当たり運行本数を 100 本とした。

$16 \text{ 時間} \times 60 \text{ 分 (運行時間)} \div 20 \text{ 分 (運行間隔)} \times 2 \text{ 本 (往復)} \div 100 \text{ 本}$

(a)：本市のバス運行時間は、始発と終発時間の差より概ね 16 時間とする。

(b)：望ましいバスの運行間隔は、一般的に都市部で 10～20 分程度、地方部でも最低 1 時間とされていることから、ここでは 20 分間隔を採用する。（バスサービスハンドブック（土木学会）参照）

(*2)：定時性の目標達成率とは、バス路線におけるバス停総数の内、発車時刻データの 1 カ月平均値と、発車予定時刻との時差が 3 分未満のバス停数が占める割合を示したものである。（新潟交通株式会社ホームページ参照）

③目標値の考え方

定時性の目標達成率向上に向けた取り組みなどを進めることで、利便性が高い公共交通サービス圏域の割合を、現状の〇%から、2022 年度までに〇%へ増加させます。【目標値精査中】

【指標】 利便性の高い公共交通サービス圏域割合の増加

〇%（2017 年度）→ 〇%（2022 年度）

【目標値算定根拠】

精査中

※ 公共交通サービス圏域の考え方

鉄道駅から半径 500m：旅客施設に関わるバリアフリーの重点整備地区の設定において、一般的に旅客施設から 500m～1km が徒歩圏内とすることを参考に、サービス圏域を駅から半径 500m に設定。

バス停から 300m：バス停の設置計画の検討において、一般的な人（歩行速度 80m/分）の 90%が抵抗を感じない距離が 300m（徒歩時間 3.5 分）であることを参考に、サービス圏域をバス停から半径 300m に設定。

成果指標4：【市民生活の視点】 精査中

区バス・住民バスの利用者の増加

①成果指標の設定理由

住み慣れた地域ですっと安心して暮らせるまちとなる公共交通環境の構築達成度を検証するため、区バス・住民バスの利用者数の増加を指標とします。

②成果指標の考え方

指標とする路線は、中央区を除く7区13路線の区バス、11地区15路線の住民バスとするが、今後社会実験を経て本格運行する区バス・住民バス及びデマンド交通も加算したうえでの利用者数とします。

③目標値の考え方

地域主導による計画づくりや運営の支援に取り組み、地域に根付した生活交通を確保維持・強化をすることで、現状の年間51.3万人/年から、2022年度までに〇万人/年へ増加させます。【目標値精査中】

【指標】 区バス・住民バスの利用者の増加

51.3万人/年（2017年度）→〇万人/年（2022年度）

【目標値算定根拠】

精査中

目標と成果指標

交通の将来像

京都新潟の拠点化と安心して暮らせるまち

【目標 1】
京都新潟の拠点化を
支える交通

【目標 2】
安心して暮らせることで
選ばれるまちを
支える交通

成果指標

成果指標 1：目標 1【拠点化の視点】の成果指標

【指標】路線バスにおける全国相互利用 IC カード利用者数の増加
324 万人/年（2017 年度）→386 万人/年（2022 年度）

成果指標 2：目標 1【拠点化の視点】の成果指標

【指標】まちなかのバス停（新潟駅、万代シティ、古町）利用者数の増加
1,561 万人/年（2017 年度）→0 万人/年（2022 年度）

成果指標 3：目標 2【市民生活の視点】の成果指標

【指標】利便性の高い公共交通サービス圏域割合の増加
0%（2017 年度）→ 0%（2022 年度）

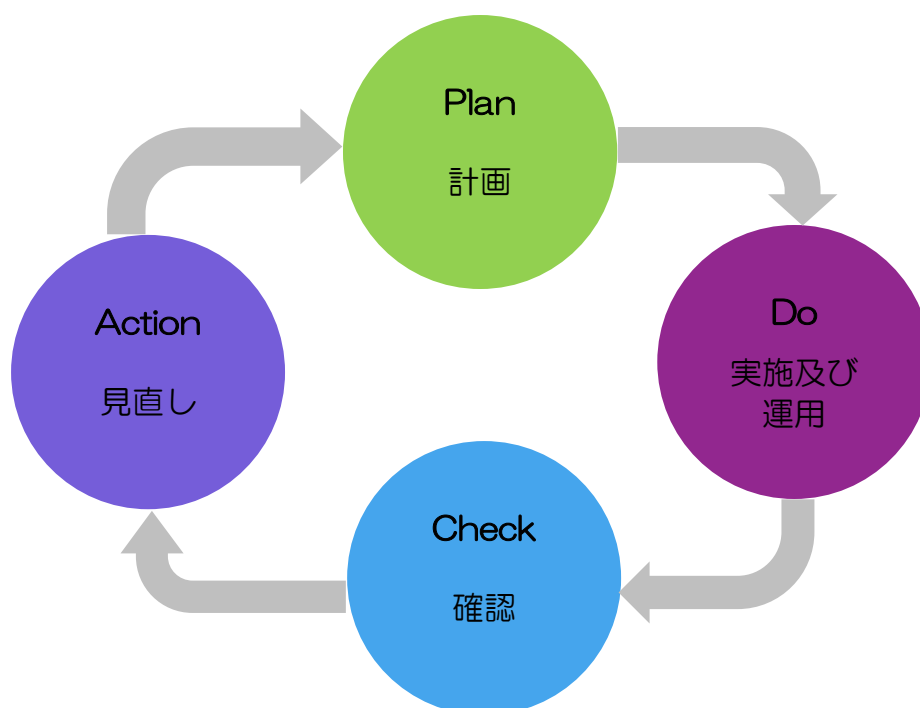
成果指標 4：目標 2【市民生活の視点】の成果指標

【指標】区バス・住民バスの利用者の増加
51.3 万人/年（2017 年度）→0 万人/年（2022 年度）

進捗管理

社会経済環境の変化等により、当初期待された事業による影響・効果が発現しない可能性も考えられます。

施策実施段階で改めて影響、効果を確認（Check）したうえで、必要に応じて施策内容を見直す（Action）というように、より良い効果発現に向けて、PDCA サイクルによる不断的努力により、継続的な施策の見直し、実施が必要となると考えています。



○計画の達成状況の評価 管理表

目標	達成状況の確認方法	2019	2020	2021	2022
【目標1】 県都新潟の拠点化を支える交通	成果指標1	○	○	○	●
	成果指標2	○	○	○	●
【目標2】 安心して暮らせることで選ばれるまちを支える交通	成果指標3	○	○	○	●
	成果指標4	○	○	○	●

●：最終評価の確認 ○：進捗状況の確認